

会議の名称	西東京市生涯学習推進計画策定懇談会第3回会議録
開催日時	平成20年8月28日 午後2時から4時まで
開催場所	西東京市役所保谷庁舎 4階理事者室
出席者	(委員) 貝塚座長、川口副座長、松嶋委員、飯塚委員、水井委員、有馬委員、小田委員 (欠席) 金子委員、三原委員、白倉委員 (事務局) 波方社会教育課長、小関社会教育課長補佐、神田社会教育係
議題	1 現行計画の進捗状況について 2 意識調査について 3 グループインタビューについて 4 今後の進め方について
会議資料の名称	資料1 西東京市生涯学習推進計画策定に係る意識調査【速報版：単純集計結果】 資料2 今後の進め方について 資料3 生涯学習推進計画（平成16年度～20年度）の進捗状況について 資料4 グループインタビュー調査実施結果報告
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
○開会 ○第2回会議録【案】確認 ○配布資料確認 議事1 現行計画の進捗状況について ○事務局：現行計画の進捗状況について説明【資料3】 ○座長：本日配布された資料なので、少しの時間目を通してほしい。「今後の方向性」は今後、庁内で検討して埋めていくのか。 ○事務局：懇談会の意見や庁内でのヒアリングの結果をもとに埋めていく。 ○委員：（3ページ 1231）「市民農園・家族農園が閉鎖傾向」とあるが、利用者は非常に残念がっている。また、（4ページ 1312）「PCルームの廃止」とあるが、パソコンに関しては特に中高年の希望者が多い。事業を廃止する場合には廃止の理由を明確にして、その後の対応も伝えてほしい。 ○事務局：各課に聞き取りして伝えていきたい。 ○委員：「実施」・「未実施」・「継続」の3分類のうち、「継続」は項目によって意味合いが異なるのではないか。（2ページ 1131）紙ベースの人材情報とはどのようなものでどこにあるのか。 ○事務局：計画策定前からの事業については「継続」としている。今後、同じように継	

続するのか、充実していくのかは聞き取りをしていく。

人材情報については、情報の確認を行い、紙ベースの情報を更新して整備した。現在は社会教育課の窓口対応で人材情報を提供している。

- 委員：生涯学習情報センターについて説明して欲しい。
- 事務局：生涯学習情報センターといってもいわゆるハコモノではなくセンター機能の整備というイメージである。生涯学習情報システムを活用しての機能整備を検討したため「未実施」となっている。今後は生涯学習だよりの発行や事業担当者のネットワーク化などを進め、できるところからセンター機能の整備を図っていきたい。
- 委員：（2ページ 1112）システムの構築は「実施」でよいのか。
- 事務局：当初イメージしていたものではないが、規模を縮小しての代替方法を検討している。
- 委員：（8ページ 2211）小学校9校で"緑のカーテン"を実施しているが、実際はほとんどがボランティア団体の作業になっている。体験学習のいい機会だと思うので、学校との協働を進めてほしい。
- 委員：（13ページ 2561）NPO法人連絡会では地域の企業とのタイアップをはじめたところ。企業の参画をとりいれてもよいのではないか。
- 委員：生涯学習として企業活動とどう結び付けていくか、ということが鍵になる。
- 委員：（10ページ 2325）障害者と健常者が一緒にできる取組みを今後も進めて欲しい。
- 委員：（8ページ 2214）体験活動の有機的な展開は「継続」になるのではないか。
- 事務局：事業担当者部会は設置されたが、体験学習に特化した検討をしていないので、「未実施」としている。
- 委員：「未実施」も項目によって意味合いが異なるように思える。新しい取組みもありえるのか。
- 事務局：そのまま今後も実施しないというものや、再検討しながら新しい取組みをしていくというものもあると思う。各事業を精査し、新しい取組みがあれば加えていく。
- 委員：（11ページ 2431）高齢者大学とはどのようなものか。
- 事務局：福祉会館で行われている高齢者を対象の講演会を中心とした講座である。公民館も高齢者対象事業を実施しているが、仲間作りや地域参画のきっかけづくりを意識したプログラムで行っている。
- 委員：公民館では「田無カレッジ」という事業名で実施されている。
- 座長：その他に意見はないか。新たに気づいた点があれば、後でもいいので挙げて欲しい。

議事2 意識調査について

- 事務局：意識調査結果（単純集計）について説明【資料3】
- 委員：高齢者、特に女性が少ないことについてはどうか。
- 事務局：グループヒアリングなどでフォローしている。
- 委員：8ページの子育てについて、年齢別に見ると面白い傾向が見られる。問2と問3のクロス集計表が見たい。
- 事務局：問2と問3のクロス集計表は次回に示す。
- 委員：データだけ見ると意識が高い。内閣府のデータだと2005年から2008年で6ポイ

ント認知度が上がっているが、実際活動した人は減少している。何かしたい人は増えているが、探している状態ではないかと思う。情報提供などの手助けが必要。

議事3 グループインタビューについて

- 事務局：グループインタビュー結果について説明【資料4】
- 座長：参加された委員から何かあるか。
- 委員：順序良く聞いてもらった。よくまとめられている。発言をその場で書き出してもらえたのはよかった。
- 委員：14団体、25人のうち、高齢の女性は何人くらいか。
- 事務局：11人が該当する。
- 委員：参加者は事前に会員の意見を聞いているのか。
- 委員：私の場合は、事前に他のメンバーの意見を聞いた。
- 委員：私も、事前に他のメンバーの意見を聞いている。
- 委員：ということは、25人だけではなく、より多くの声がまとめられていることになる。
- 委員：市民団体の最大の課題は新規参加者（特に若年層）が少ないこと。敬老会などもそうだが。
- 委員：老人会には魅力を感じない。自分たちで何かつくりたい
- 事務局：マナーが悪いという意見が多かったことについてはどうか。
- 委員：マナーを含め、生涯学習の中で社会教育にどう取り組んでいくかが鍵になるかもしれない。

議事4 今後の進め方について

- 事務局：今後の進め方について説明【資料2】。
- 座長：9月、10月は計画の骨子を議論することになるシート案、イメージが示されているので、これらについて、また、まとめ方などについて意見を出し合っていきたい。当面はこのような進め方でよいか。
了承
- 座長：次回の日程は検討シート作成作業のための時間を空けたい。9月30日(火曜)でどうか。
9月30日(火曜)14時～16時で決定